

特別養護老人ホーム「しなの園」建設計画

高齢者福祉の拠点施設、平成9年にオープン

平成九年四月に庄瀬地内に開所予定の特別養護老人ホームの名称が「しなの園」に決定しました。建設準備が進められている同ホームの建設計画の概要をお知らせします。

市では、西暦二〇〇〇年（平成十一年度）を目標として高齢者、障害者、児童・青少年の三つの分野を中心に、幅広い福祉社会の実現を目指そうと、平成六年三月に社会福祉計画を策定しました。特別養護老人ホームの建設は、この計画の中の高齢者の施策の一つとして掲げられています。

平成九年に開所する特別養護老人ホーム「しなの園」は、敷地面積約一万二千五百一十平方メートル、鉄筋コンクリート造り平屋建て。特別養護老人ホームにデイサービスセンター、介護支援センターが併設されます。昨年十一月に、施設を経営

していく社会福祉法人「しろね福祉会」が設立され、十二月から建設用地の造成工事が始められました。建設事業費は約十五億円。この費用は、国や県からの補助金、福祉貸付金のほか、白根市、新津市、五泉市、燕市、加茂市、小須戸町、田上町の五市二町からの負担金で賄われます。

特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームは、心身に重い障害があつて、自宅で介護するのが難しいおむね六十五歳以上のお年寄りを介護する

施設です。同ホームの定員は八十人。施設を利用できるのは、構成市町の白根市、新津市、五泉市、燕市、加茂市、小須戸町、田上町の住民。このうち、白根市からは二十五人が入居できる見込みです。

また、同ホームの中にはショートステイというお年寄りを一時的に預かる部屋もあります。ショートステイが利用できるのは、介護している家族が一時的に不在になったり、介護に疲れて休養が必要になったりした場合など。定員は二十人の予定です。

デイサービスセンター

デイサービスセンターは、お年寄りの心身機能の維持と家族の負担を軽減することを目的にした施設です。痴ほうや身体の弱いお年寄りなどを昼間だけ預かって、入浴、食事、レクリエーションなどのサービスを行います。

介護支援センター

介護支援センターは、在宅で介護している家族を支援するために設置された施設。専門の職

員が介護に関する総合的な相談に二十四時間体制で応じます。そのほか、介護用品や介護用機器の展示室も設けられ、介護に必要な用具が紹介される予定です。

特別養護老人ホーム

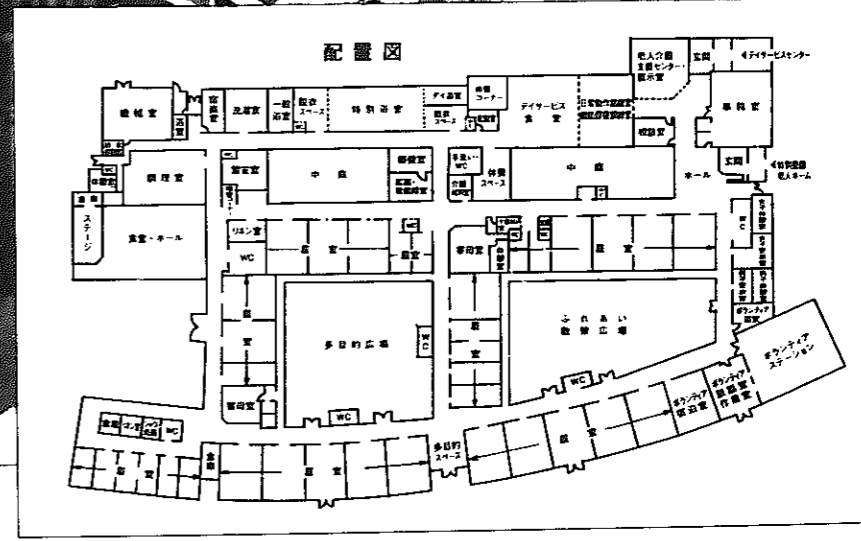
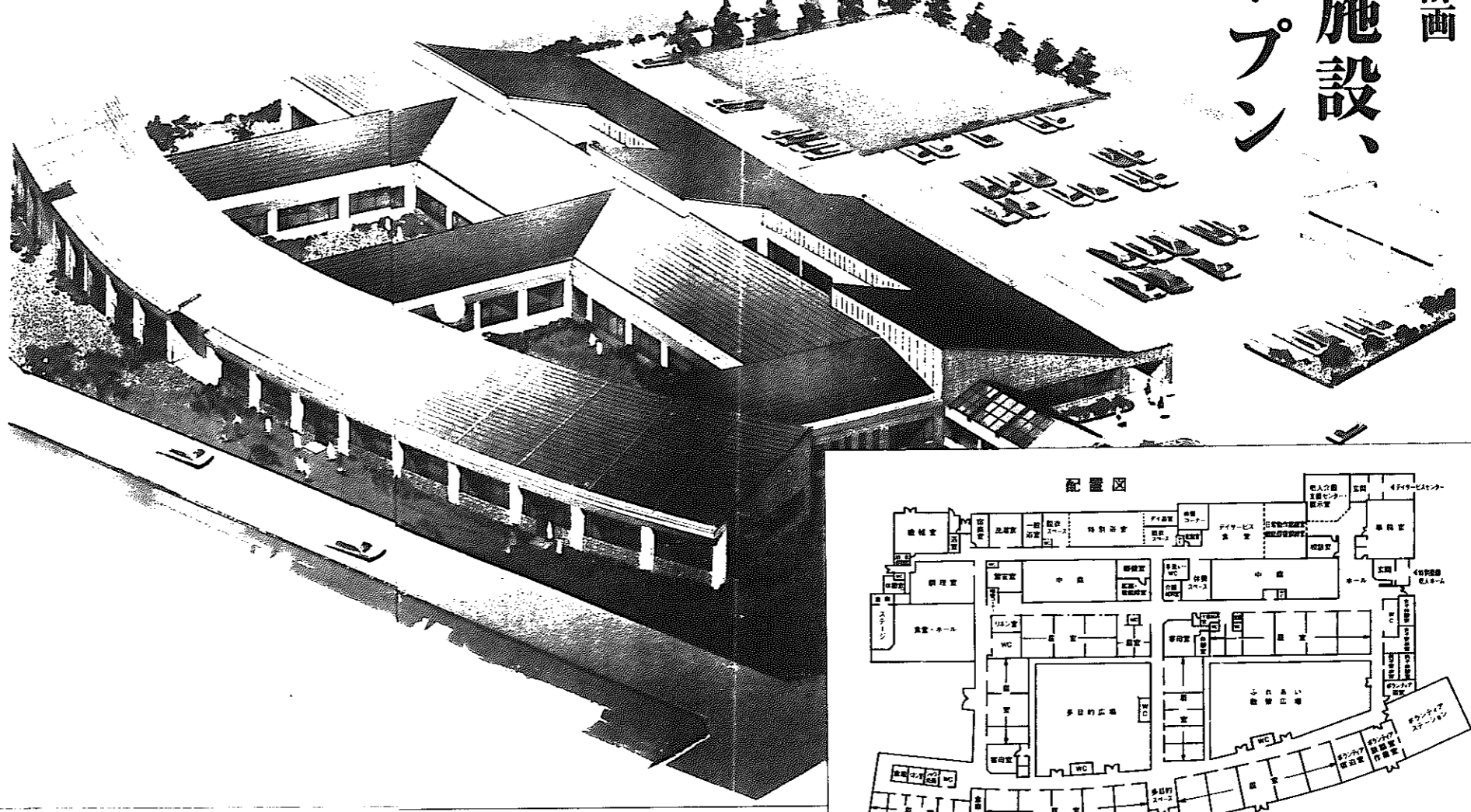
このほかに、施設内にはボランティアステーションというスペースが設けられます。ここでは、入居者とボランティアが交流したり、ボランティアが体験学習や研修を受けたることができます。

※しなの園に関するお問い合わせは市福祉事務所特養ホーム建設準備室（☎373・2111内265）へ

特養ホーム名称決定 「しなの園」に

特養ホーム建設準備室では、昨年の十一月十五日から十二月二十五日まで、ホームの名前を募集しました。応募総数は二百三十通。その中から信濃川をイメージした「しなの園」に決定しました。名付け人の中村政江さん（根岸）、白井哲雄さん（上八枚）、八幡孝子（新津市）さんには、しろね福祉会から記念品が贈呈されます。おめでとうございます。

完成予想図



施設の概要

- 所在地／白根市大字庄瀬8、120番地
- 敷地面積／約1万2、151平方メートル
- 建物延床面積／約3、855平方メートル
- 施設の構造／鉄筋コンクリート造り平屋建て
- 施設の種類の種類等
- 特別養護老人ホーム
- 老人デイサービスセンター
- 老人介護支援センター
- 施設の入所定員等
- 特別養護老人ホーム／定員 80人（うち痴ほう性老人の入所6人）
- 老人デイサービスセンター／1日 15人
- 老人介護支援センター／介護用品展示室及び相談室
- 居室数（老人ホーム）
- 普通居室／一人部屋 4室
- 二人部屋 7室
- 四人部屋 14室
- 痴ほう性居室／一人部屋 6室
- 短期居室／四人部屋 5室

特別養護老人ホーム しなの園位置図

